

平成20年度 松下教育助成 審査経過説明

赤堀 侃司

(松下教育研究財団 常務理事)

1. 本年度の特徴

1. 自由テーマ

50万円 1年間

2. 指定テーマ

特別研究指定校

150万円 2年間

①学力とICT ②人間力の育成

3. 応募数 昨年より減少

201件 74件採択 3倍

小学校の応募数

学習指導要領の移行期

総合的な学習、情報教育、小学校英語

1. 本年度の特徴(2)

4. 教育と研究の温度差

TIMSSビデオ研究

Lesson Study

組織で取り組む

学校の文化

教員の意識

2. 申請についての特徴

1. ICTが透明になった
教科特性とICT活用
2. キャリア教育の増加
中学校、高等学校
3. 専門高校の応募の増加
水産・農業高校など
4. 特別支援教育のICT活用
きめこまやかさ
5. 特別研究指定校
研究者との協同研究

3. 今回の評価された内容

1. 申請書が優れている
2. 具体性が高い
3. 地域を巻き込む
4. 成果の公開や普及

4. 今回の課題

1. 備品購入が目的
2. 個人研究になっている
3. 仮説が見えない、方法論が不明確
4. 成果の共有化が見えない
5. 文章が読みにくい